

Title	慶應義塾大学人文グローバルCOE「論理と感性の先端的教育研究拠点」・慶應義塾大学大学院グローバルCOE「環境共生・安全システムデザインの先導拠点」共催： ヒト、動物、機械における内省
Sub Title	Introspection in humans, animals, and machines
Author	宮田, 裕光(Miyata, Hiromitsu)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム人文科学分野論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2011
Jtitle	活動報告書 Vol.5, (2011.) ,p.25- 25
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	第2章：シンポジウム等の活動報告
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002002-20120300-0025

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

1

慶應義塾大学人文グローバル COE「論理と感性の先端的教育研究拠点」・
慶應義塾大学大学院グローバル COE「環境共生・安全システムデザインの先導拠点」共催
ヒト、動物、機械における内省
Introspection in Humans, Animals, and Machines

開催日 2011年5月15日

企画 渡辺茂、宮田裕光（脳と進化班）

講演者 Jérôme Sackur (École Normale Supérieure)、草山太一（帝京大学）、後藤和宏（京都大学）、渡辺茂（脳と進化班）、前野隆司（慶應義塾大学）、増田早哉子（脳と進化班）、宮田裕光（学振 PD・渡辺研）

“Introspection in Humans, Animals, and Machines”が開催された。メタ認知や意識の問題につながる、現代の認知科学でも注目を集めている話題の「内省」をテーマに、ヒト、動物、ロボットの各分野からの研究者が議論を行った。本シンポジウムの当初の予定は、人文グローバル COE 拠点リーダーの渡辺茂教授が知り合ったフランス ENS の Jérôme Sackur 准教授を招聘するものであった。しかしながら、準備中に発生した東日本大震災の影響で Sackur 先生は来日予定延期となり、急遽講演ビデオを送付いただいての開催となった。この他、日本人話題提供者5名による各1時間の講演が行われ、充実した内容となった。

渡辺茂教授による開会挨拶の後、午前のセッションは動物の認知研究の話題が中心となり、まず宮田裕光が動物のプランニング能力に関する研究を紹介した。次いで京都大学の後藤和宏博士から、動物のメタ認知から内省能力を探るアプローチの研究動向が示された。さらに帝京大学の草山太一講師より、霊長類および鳥類における自己鏡映像認知の知見が紹介された。午後はヒトおよびロボットのセッションと題し、まず慶應大 CARLS の増田早哉子助教が、ヒトの内観が不完全または報告

困難である事例について紹介した。続く Sackur 先生のビデオでは、反応時間報告などの古典的な心理実験課題を用いつつ、被験者の内観を検討する研究が紹介された。最後に、慶應大システムデザイン・マネジメント研究科の前野隆司教授から、感覚質としての意識を幻想体験とみなす限りにおいて、意識を持つロボットは作れるのではないかという提案がなされた。哲学や文化的視点も含めた多彩な内容の総合討議がなされた後、渡辺教授の閉会挨拶となった。

私はこうしたシンポジウムの幹事を任されるのは初めてだったので、当日を除くとアレンジの事務的な部分が勉強だった印象であった。途中で震災やそれによる計画変更もあった中、今回の結実は私自身の一里塚でもあり、分野を跨ぐこのような討議の機会が意識探求の結節点ともなっていくことをも予感できた一日であった。

（宮田裕光）

A symposium on introspection was held on 15th May, 2011. Professor Sackur provided a video lecture and five speakers introduced studies on introspection and consciousness in humans, animals, and robots.

